



大阪科学・大学記者クラブ 御中
関西レジャー記者クラブ 御中

2019年5月21日
大阪市立大学

名付け親の専門家と観察！

数年に1度しか咲かない珍しい花
「**プヤ・アルペストリス(ヒスイラン)**」の観察会を開催

大阪市立大学理学部附属植物園は、2019年6月8日(土)および6月15日(土)に「プヤ・アルペストリス(ヒスイラン)」の観察会を開催します。

☞取材のポイント

- ・当園での前回の開花は2017年。2年ぶりに開花します
- ・名付け親である岡田博名誉教授(当植物園元園長)による解説
- ・和名の由来のとおり花卉が宝石のヒスイのように美しい青緑色

今回の観察会では、プヤ・アルペストリス(和名:ヒスイラン)というパイナップル科の植物の開花を鑑賞します。プヤ・アルペストリスは、南米アンデス山脈の3000m級の高地に育つ植物です。巨大なアスパラガスのような花序が高く伸び、とげがついたような枝が枝分かれし、この枝に花が集まって咲きます。花卉がヒスイ(宝石)のような色をしていることにちなんで、岡田博氏(大阪市立大学名誉教授・当植物園元園長)によって2003年に『ヒスイラン(和名)』と名付けられました。

この観察会では、その名付け親である岡田博氏による詳しい説明があり、専門家ならではの視点から観察します。実は数年に1度しか開花しない珍しい植物で、当植物園では2年ぶりの開花となります。次は何年後の開花になるかわかりません。ぜひ皆さまに広くご周知いただくとともに、取材についてご検討いただきますよう、よろしくお願い致します。



プヤ・アルペストリスの花

- 開催日時 第1回 2019年6月8日(土) 10時30分より(少雨決行)
第2回 2019年6月15日(土) 10時30分より(少雨決行)
- 場所 大阪市立大学理学部附属植物園(大阪府交野市私市2000)
アクセス:京阪電車交野線「私市(きさいち)」駅下車、徒歩約6分
<http://www.sci.osaka-cu.ac.jp/biol/botan/>
- 講師 岡田博氏(大阪市立大学名誉教授・当植物園元園長)
- 参加費 無料(ただし入園料350円は必要)
※中学生以下および、大阪市民で満65歳以上の方(住所・年齢の判るものを提示)、障がい者手帳をお持ちの方、植物園メイトカード(65歳以上の交野市民で植物園メイトに登録された方)をお持ちの方は、入場料無料
- 申込方法 事前申込不要(当日、定刻までに植物園入口事務所前にお集まりください。)
- 問い合わせ先 〒576-0004 大阪府交野市私市2000
大阪市立大学理学部附属植物園 事務所(問合せ時間:9時から17時30分まで)
TEL:072-891-2059 FAX:072-891-2101
Email:b-garden@sci.osaka-cu.ac.jp

【本件に関する問合せ先】

大阪市立大学理学部附属植物園 担当:中野
TEL:072-891-2059

珍しい植物の開花が見られます！

『プヤ・アルペストリス

(ヒスイラン)』の観察会

今回の観察会では、プヤ・アルペストリス（和名：ヒスイラン）というパイナップル科の植物の開花を鑑賞します。プヤ・アルペストリスは、南米アンデス山脈の3000m級の高地に育ち、巨大なアスパラガスのような花序が高く伸び、とげがついたような枝が分枝して、この枝に花が集まって咲きます。花弁がヒスイ（宝石）のような色をしていることにちなんで、岡田博氏（大阪市立大学名誉教授・当植物園元園長）によって2003年に『ヒスイラン（和名）』と名付けられました。この観察会では、その名付け親である岡田博氏による詳しい説明があります。実は数年に1度しか開花しない珍しい植物です。この機会に是非ご来園いただき、ご覧いただければと思います。



日時：第1回 2019年6月8日（土）10時30分より（少雨決行）
第2回 2019年6月15日（土）10時30分より（少雨決行）

場所：植物園入口事務所前 集合

講師：岡田 博 氏（大阪市立大学名誉教授・当植物園元園長）

参加費：無料（入園料350円は必要、中学生以下は無料）

申込：事前申し込みは不要。※当日、定刻までにお集まりください

お問い合わせ：大阪市立大学理学部附属植物園 072-891-2059